

公式記録



会場主任	平家 義久	主審	中本 早紀
------	-------	----	-------

令和元年度第72回近畿高等学校サッカー選手権大会 女子の部 準決勝 【 18 】 近畿高体連サッカー部

日時	2019年6月17日(月) 12:00 キックオフ			会場	みきぼうパークひょうご第1球技場					
天候	晴れ	風	微風	ピッチ	天然芝	人工芝・クレー	状態	良好	試合形式	70分 / 延長 0分 / PK戦 有
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	平家 義久		記録	伊窪 正輝 / 石塚 健二		観衆	128人
主審	中本 早紀		副審1	筒井 慎也		副審2	山口 裕貴		第4の審判員	布本 淳智

チーム名	kick off				2	前半 0	後半 0	延前	延後	PK戦	チーム名	0				PK戦	先 O X
日ノ本				2				0				京都精華					

No.	OUT時間	シュート				選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート				交代
		延後	延前	後半	前半							前半	後半	延前	延後	
	70-2分				小笠原 梨紗 3年	1	GK	GK	1	森澤 杏 2年						
				1*	竹重 杏歌理 2年	3	DF	DF	3	若林 真美 3年						
	32分				徳永 雅 2年	4	DF	DF	6	青木 美彩生 3年						
					渡邊 那奈 3年	5	DF	DF	8	堀内 明紗実 3年						
					小鍛治 旭 2年	18	DF	DF	20	藤本 希梨 1年				68分		
					上田 佳奈 3年	6	MF	MF	7	高萩 歩々花 3年						
			1	2*	平井 杏幸 3年	9	MF	MF	9	中内 日菜乃 3年		2				
				1	増永 朱里 3年	11	MF	MF	10	千本 翔子 3年						
	64分			1	箕輪 千慧 1年	14	MF	MF	19	桃原 愛歌 1年				27分		
				1	古賀 花野 3年	10	FW	MF	21	森 三紘 1年				48分		
	67分			2	山下 寧 2年	17	FW	FW	11	成田 凜可 3年						
1	分				友 菜奈歌 2年	25	GK	GK	12	梅北 葵 1年						
	分				中山 裕香 3年	2	DF	DF	2	木村 莉子 3年					20分	
	分				中垣 虹衣碧 1年	19	DF	DF	13	奥村 真由 3年						
4	分			1	木村 日咲 3年	23	DF	DF	17	小酒井 更咲 1年						
	分				山田 瑞穂 2年	7	MF	MF	16	榎 有衣香 3年						
	分				武田 恵実 3年	12	MF	MF	22	丸山 日和 1年					21分	
	分				與那覇 璃音 3年	22	MF	MF	23	佐藤 向日葵 1年						
14	分				平川 里奈 2年	24	MF	MF	25	浅居 万温 2年						
17	分				野村 千里 3年	16	FW	FW	18	小森 愛巳 1年					19分	

時間	警・退 No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退 No.	氏名	事由
分				12			6	6	シュート	0	2			2	分			
分				2			1	1	GK	7	7			14	分			
分				3			3	0	CK	0	0			0	分			
分				7			4	3	直接FK	2	5			7	分			
分				2			1	1	間接FK	0	2			2	分			
分				0			0	0	PK	0	0			0	分			

【警告事由】 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 【退場事由】 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS											
					右	左	中央	相手GK	セービング	こぼれ球	右足	左足	S			
6分	日ノ本	9	平井	1-0	右	10	~	右足	S	中央	相手GK	セービング	こぼれ球	9	右足	S
11分	日ノ本	3	竹重	2-0	中央	3	→	4	→	3	~	右足	S			
分				-												
分				-												
分				-												
分				-												
分				-												
分				-												

戦評者 所属【 夢野台高校 】 氏名【 平家正久 】

絶好のコンディションのもとで行われた準決勝。日ノ本の4-4-2に対して、精華はやや守備に重きを置いた3-4-3で試合開始。日ノ本は⑩古賀を起点としてピッチを広く使い、⑨平井と⑰山下が連動して局面の打開を図る。それに対して精華は、③若林⑩千本⑳藤本で中央をしっかりと固める。前半6分、日ノ本⑩古賀がハーフウェイライン付近から縦に抜け出し右足でミドルシュート。精華ゴールキーパーが弾いたところを日ノ本⑨平井がきっちり決めて先制し1-0。続く前半11分、中盤でのボール回しから、日ノ本③竹重の素晴らしいロングシュートが決まり2-0となる。2点目を奪われてから精華は徐々にペースを取り戻し、⑨中内にボールを集めながらチャンスを伺うも無得点のまま前半終了。後半に入り日ノ本⑰山下⑱箕輪⑨平井が立て続けにシュートを放つが、枠を外れる。56分、日ノ本⑩が中央を抜け出しゴールキーパーをかかわしてシュートを打つも、精華⑥青木がスライディングでクリアする。守備を固めて前線へのロングフィードで決定機を作りだそうとする精華の攻撃に対して、日ノ本がうまく対応しゴールを許さない。そのまま終了し2-0で日ノ本が決勝戦へと駒を進めた。最後まで走り続けた精華の選手達を賞賛するとともに、決勝戦での日ノ本の戦いぶりにも期待したい。